

はじめまして Hjälpia です。



「ヒャルピア」と呼んで下さい！



人が人を持ち上げない介助をサポートする、トランスファー製品です。
感染対策のディスポーザブル製品も充実しています。
電源不要で、簡便かつ容易に取り扱えます。
側臥位等の体位が難しい患者さんのトランスファーにも対応します。

- スライディングマット
- スライディングボード
- スライディングボードショート
- スライディングマットチューブ(単品)
- スライディングボードチューブ(単品)
- ディスポーザブルチューブ

発売元

信頼をかたちに
シーマン株式会社
https://www.sheen-man.co.jp
本社 大阪市北区東天満1丁目12番10号 〒530-0044
TEL (06) 6354-7702 FAX (06) 6354-7114
東京支店 TEL (03) 5207-3521 FAX (03) 5207-3522
九州支店 TEL (092) 283-7400 FAX (092) 283-7401
名古屋支店 TEL (052) 218-7337 FAX (052) 218-7338

輸入元

スーガン株式会社
大阪市北区東天満1丁目12番10号 〒530-0044
第一種医療機器製造販売業



厚生労働省 指針の改訂

厚生労働省より「職場における腰痛予防対策指針」が策定されており、平成25年6月に適用範囲を福祉・医療分野における介護・看護作業全般に広げるなど改訂がありました。この指針は、事業主へ向けて示されており、その中で、腰痛予防に関する主な事項についてご紹介いたします。

- ・ リスクアセスメントを実施し、合理的・効果的な腰痛予防対策を立てる。
- ・ 人を抱え上げる作業は、原則、人力では行わない。福祉用具を活用する。
- ・ 不自然な姿勢(前屈、ひねり等)にならない環境を整備する。
- ・ 満18歳以上の男子労働者が人力のみにより取り扱う物の重量は、体重のおおむね40%以下となるように努める。
- ・ 満18歳以上の女子労働者では、さらに男性が取り扱うことのできる重量の60%くらいまでとする。
- ・ 作業標準の策定時には、対象者ごとに、かつ、移乗、入浴、排泄、おむつ交換、食事、移動等の介助の種類ごとに策定する。
- ・ 労働者が腰痛を生じやすい方法で作業をすることや腰痛を我慢しながら仕事を続けることは、労働者と対象者双方の安全確保を妨げ、さらには介護・看護等の質の低下に繋がる。
- ・ 定期的な職場の巡視、聞き取りなどを行い、新たな負担や腰痛が発生していないか確認する体制を整備する。

出典：職場における腰痛予防対策指針(H25.6.18付け基発0618第1号)および関連資料より抜粋

ケアポジションのポイント

ポイント1. 姿勢



- ・ 両足を肩幅に広げた状態で自分の足が収まるサークル内に自分の鼻が入っているようにします。
- ・ 腰と腕が離れないようにします。体全体を使ったケアの姿勢が取りやすくなります。
- ・ つま先と鼻の向きは常に同じであると、腰を無理にひねった姿勢になりにくいです。

ポイント2. 順番



- ・ まずこれから行うケアについて声がけします。
- ・ ケアを始める前にベッドを適切な高さに調整しましょう。
- ・ 次にケアを行います。いきなりケアを行わないようにします。

日本の「ケアの質(Quality of Care)」を変えるために一般社団法人 日本ノーリフト®協会を2010年に設立した、代表理事保田淳子氏にご意見を伺いました。



オーストラリアで経験をした Culture Changeを日本に導入して、医療介護のケアの「変えられないを変えていく」

2003年に渡航した先のオーストラリアで、働く環境を整えるマネジメントが浸透していることを目の当たりにして日本の職場環境との違いを知り驚きました。そのことがきっかけで現在の活動を始めました。オーストラリアで重要視されている、スタッフの働く環境を整えることが患者さんへのQuality of Careにつながるという考え方を臨床および大学の修士課程で学んできました。

オーストラリアでまず学んだことは、日本で学んだ腰痛予防対策は予防策ではなく、対症療法であった事でした。福祉用具を活用するケアについて、私自身が最初は懐疑的でした。しかし実際の患者さんの良い変化の実感を重ねる事で考え方が変わりました。ノーリフトは医療や介護に根付いている文化を変える=Culture Changeです。ケアを提供する一人一人の知識が変わると習慣が変わり、それが当たり前のレベルにまでもっていくと、臨床現場でのケアが変わります。私が滞在した2003年から2008年は、オーストラリアのケアが劇的に変化していく時期でもあり、その過程を身近に見ることができた事は大きな経験でした。

職業病として、医療職が腰痛を持ち、痛みを持ちながら働いていると患者さんに対する対応も十分にできなくなっている可能性があります。自分が健康でない状況であることによって、離職を考え、ケアへのパフォーマンスが下がってしまう。すなわち患者さんのケアをあきらめる事につながります。でも、医療職として患者さんへのケアをあきらめたくないですね。どうすればあきらめずにケアを続けられるか、その答えが医療介護のケアにマネジメントを導入する事でした。

ケアの提供方法も、人によって違いができてしまうのは、テクニックにフォーカスしているためだと気が付きました。個人の技量や技術、個人の責任に依存してはケアの質のコントロールができません。個人が習得したテクニックはばらつきがあります。個人の経験や知識で変わってしまうからです。テクニックを磨く事は医療の専門職として一生追い続けていく事であり、終わりはないと思います。目の前の患者さんに、医療職が上手にケアをできるようになるのを待つとは言えません。まず、自分ができないことを認める、その上でできる人とコラボすることが重要です。マネジメントを導入する目的は、誰もがよりよいケアを提供できる方法を表すことです。個人の責任にするのではなく、組

織として対応できるように対策をする事です。

厚労省もマネジメントの視点から職場の腰痛対策に取り組んでいます。その国の動きを知らない医療現場が減少したとはまだまだ言えない状況です。国の対策として、腰痛対策指針の改訂が平成25年に19年ぶりに実施されました。改訂のポイントは、「人を抱え上げる作業は、原則、人力では行わない」と経営者側に訴求している点です。日本ノーリフト協会で行っているセミナーでは臨床現場の方々にエビデンスの重要性をお伝えしています。エビデンスとは、ピラミッドの構成要素の中で、労働安全衛生法、医師法、看護師助産師保健師法などの「法律」が最上位となります。次いで「調査・研究」、その次が教科書、新聞、Webなどによる「情報」、そしてベースとなるのが個人の「経験・体験」です。ノーリフトエビデンスの基本となる「経験・体験」と最重要エビデンスである「法律」を教育しています。法律を知る事で、専門職の行うべき職務範囲が明確になります。それは医療職の皆さんの行動基準になると考えるからです。そしてよりよいケアを実施するためのツールとしてノーリフトを活用しています。腰痛は治らないと思っている医療職に対し、経験をしてもらおうプログラムにしている点は、解決できないと思っている、困っている医療職に対し、ノーリフトを体験し個人の経験をもとに考え方を覚えてもらう事が重要です。ノーリフトを通して、個人の責任にせずケアの質をマネジメントする事をゴールと設定しています。個人に頑張れと指示するだけではマネジメントできません。ケアの質をマネジメントするにはスタッフをマネジメントすることが必要不可欠です。職種による適材適所の連携をマネジメント側が理解し、その上で、時間が足りない、お金や人手が足りないのであれば、ケアの現場に押し付けるのではなく、国に訴求するもしくは世論に訴求して、国家予算の使い方に一石を投じるべきであると考えています。現在協会では国に対する活動も展開しています。

ぜひ皆さんと一緒に、日本のケアの質を考え、目の前の患者さんや家族が生活を考えられる支援をし、望む生活が送りできるよう支援をするケアの提供をしたいと願っています。

※「ノーリフト®」「ノーリフトケア®」は日本ノーリフト協会の登録商標です。



Webで本記事をご覧ください。

スライディングマット



移乗間の高さを平行に、またすき間を5cm以内に整えられる場合にご使用いただけます。本体が柔らかいマット仕様ですので患者さんへの負担が低減できます。



アームレストおよびフットレストが脱着もしくは退避可能なリクライニング式車いすやチルト式車いすからベッドへの移乗にも患者さんの負担を少なくご使用いただけます。
ボード式と比べて側臥位が取りにくい方にも優しく移乗を行っていただけます。



お手入れ



お手入れの注意事項
マット本体とチューブは洗濯機で洗濯が可能です。
柔軟剤の使用はお控えください。

スライディングボード



移乗間の高さ違いや入浴介助時の入浴用ストレッチャーへの移乗など、様々な使用環境に対応します。ボードは2つ折りにできるため、持ち運びにも便利です。



スライディングボードショート



小柄な患者さんが多い環境では、体幹をカバーする半分の長さのボードが取り回しやすくお勧めです。
ショートにも専用のディスプレイチューブのご用意があります。



ボード本体に使用説明のイラストを反映しました。



- ・スタッフの異動時など、引き継ぎが現場サイドでスムーズに行えます。*
- ・移乗可能なすき間の目安を表示しています。

*ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

お手入れ

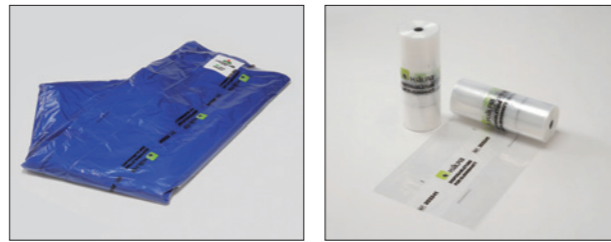


お手入れの注意事項
ボード本体はぬるま湯または石鹸水で拭拭します。消毒が必要な場合は70%エタノールや45%イソプロパノールあるいはそれに近い消毒液をご使用ください。
チューブは洗濯機で洗濯が可能です。柔軟剤の使用はお控えください。

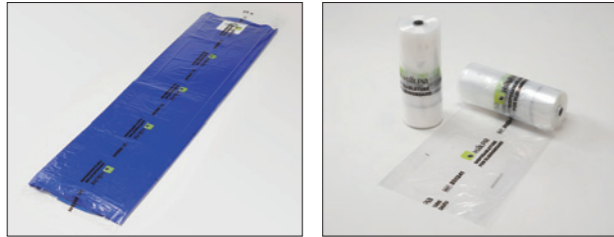
ディスポーザブルチューブ

- ・汚れ防止用のディスポーザブルチューブを併用することで、感染等のリスクを低減できます。
- ・スライディングマットチューブ(リユース)の洗濯回数が減らせます。
- ・スライディングボードショート用のご用意もあります。

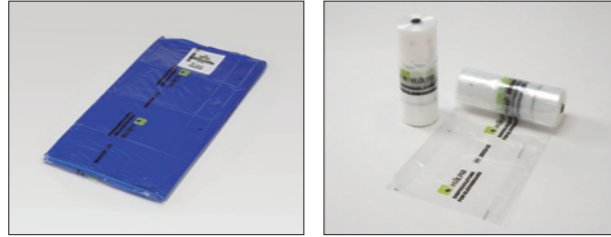
スライディングマット用



スライディングボード用



スライディングボードショート用



スウェーデンで普及している

ポジショニングシートと併用する使い方もあります。



スライディングボードと併用の使用説明動画はこちらからご覧いただけます。



スライディングマットと併用の使用説明動画はこちらからご覧いただけます。



ポジショニングシート

- ・ポジショニングシートとは、滑りの良い面を持つシートです。
- ・体位変換やポジショニングはもちろん、おむつ交換もしやすくなります。
- ・リフトと併用できます。



マットレスカバー



セカンドシート(2方向用)



セカンドシート(4方向用)

ヒャルピア Hjälpia トランスファー製品一覧表



スライディングマット



使用説明の動画はこちらからご覧いただけます。



型番	品名	サイズ(cm)	重さ	素材	価格(税抜)
SM203531	スライディングマット本体(190×60)チューブ付	190×60	約1.3kg	本体/ポリエステル チューブ/ポリエステル	¥98,000
SMT203131	スライディングマット(190×60)用チューブ	210×62	約290g	ポリエステル	¥22,000
SMDT203241	スライディングマット(190×60)用ディスポーザブルチューブ	210×62		ポリエチレン	¥44,000 (100枚入/箱)

スライディングボード



使用説明の動画はこちらからご覧いただけます。



型番	品名	サイズ(cm)	重さ	素材	価格(税抜)
SB202431	スライディングボード本体(175×50)チューブ付	175×50	約1.9kg	本体/ポリエチレン チューブ/ナイロン	¥125,000
SBT202131	スライディングボード(175×50)用チューブ	176×51	約160g	ナイロン	¥22,000
SBDT202241	スライディングボード(175×50)用ディスポーザブルチューブ	195×52		ポリエチレン	¥44,000 (100枚入/箱)

スライディングボードショート



使用説明の動画はこちらからご覧いただけます。



型番	品名	サイズ(cm)	重さ	素材	価格(税抜)
SBS202432	スライディングボードショート本体(85×50)チューブ付	85×50	約0.9kg	本体/ポリエチレン チューブ/ナイロン	¥80,000
SBST202132	スライディングボードショート(85×50)用チューブ	88×51	約90g	ナイロン	¥14,000
SBSDT202242	スライディングボードショート(85×50)用ディスポーザブルチューブ	90×52		ポリエチレン	¥46,000 (200枚入/箱)